

## THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2017～2018年度 国際ロータリー イアン H.S. ライズリー 会長テーマ

ROTARY : MAKING A DIFFERENCE ロータリー : 変化をもたらす

創立 1954年 3月 8日  
承認 1954年 3月 30日例会日時 毎週月曜日  
12:30～13:30  
例会場 刈谷市新栄町3の26  
刈谷商工会議所内  
事務所 TEL (0566)22-2111  
FAX (0566)25-2111  
メール kariyarc@katch.ne.jp  
ホームページ http://www.kariya-rotary.com  
会長 吉原 孝彦  
幹事 出口 達也  
会報委員長 佐野 彰彦

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

## 第2977回例会プログラム

[当年度 = 3 回目 ; 当月 = 4 週目]

2017年 (平成29年) 7月24日(月)

## 1. 例会……………〈司会 : プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム  
12:30 2. 点鐘……〈会長〉  
3. 開会宣言  
4. ロータリーソング斉唱……日も風も星も  
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介  
6. 食事

- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告  
8. 地区大会 PR……  
地区大会実行委員会 (名古屋大須 RC)  
林 順治 様・丹下 富博 様

9. 幹事報告  
10. 出席報告  
※第4四半期皆出席の発表 (出席委員会)

11. 委員会報告  
12. ニコニコボックス報告  
13. 次週並びに次々週のプログラムの予告  
(7/31) ……

クラブ協議会並びに懇親会  
(親睦活動委員会)

- 17:30～刈谷商工会議所  
(8/7) ……

クラブフォーラム (会員増強委員会)  
クラブ会員増強委員会委員長  
小澤 陽一 会員  
地区会員増強委員会委員  
水越 彌生 会員

- 13:00 14. 本日のプログラム  
地区出向者アワー  
吉岡 秀記 会員  
新入会員アワー  
田上 武 会員

15. 謝辞  
16. 点鐘……〈会長〉  
17. 閉会宣言

13:30 18. 散会

## ビ ジ タ ー

林 順治 様 (名古屋大須 RC)  
丹下 富博 様 (名古屋大須 RC)

## 出 席

会員総数 92名 出席免除 24名  
出席義務者+免除者の内例会出席者 79名  
欠席 11名 出席率 86.08%  
前々回 (7/3) の修正出席率 100%

## 会 長 報 告

- 1) 青少年交換学生のシェビラード・ランズさんは、予定通り7月21日金曜日、セントレアより16:40のフライトで無事帰国しました。



- 2) 7月20日木曜日、中京ゴルフ倶楽部石野コースにて、7月のゴルフ例会が開催されました。グロス95ネット68で小林祥浩会員が優勝されました。

3) 2760地区より、久米博明会員に青少年交換クラブ  
カウンセラーの委嘱状が届いております。



## 幹事報告

1) 本日例会終了後、事務局にて前年度の理事会を開  
催致します。ご関係者のご出席をお願い致します。

## 会長あいさつ

### 7月24日はテレワーク・デイ

吉原 孝彦



挨拶に先立ち RI 会長エレクト、  
ウガンダ出身オオリ氏のご逝去を謹  
んでお悔やみ申し上げます。

政府は毎年7月24日を「テレワ  
ーク・デイ」と定めました。「テレワ  
ーク」とは、時間や場所を有効に活用  
するために家やサテライトオフィス  
で仕事をする事です。なぜ定めたかという  
と、2020年の東京オリンピック開催時の混雑解消です。特に24日は  
開会式の日で、当日の混雑を避けるため首都圏の企業に  
事業への参加を呼び掛けています。

2012年ロンドンの際に市当局が呼び掛けて市内の約8  
割の企業が導入したことから結果として会期中の交通混  
雑を回避できたことに加え、企業では事業継続体制の確  
立、生産性や従業員満足の向上、ワークライフバランス  
の改善等の成果が得られたと報告されています。

東京でも国内外から大勢の観光客が集まり、首都圏で  
大変な大混雑が予想されることから、高市総務大臣が国  
土交通省などと連携して「テレワーク・デイ」を定めた  
ました。

参加団体の数は、テレワークを実施する①テレワーク  
実施団体554件②テレワーク実施特別協力団体（効果測  
定協力団体）80件、テレワークを応援する①ノウハウの  
提供②ワークスペースの提供③ソフトウェアの提供する  
団体の合計で927件（一部重複含む）となりました。

また政府の導入の狙いとしては「働き方改革」の切り  
札、とも言っています。いまだに広く普及していない「テ  
レワーク」という働き方を、時代のニーズに合った柔軟  
な働き方として定着させたいそうです。

さてどうでしょうか？都心のホワイトカラーを中心に  
考えられていて、地方とか製造業にはどうしたもので

(2)

しょうか。プレミアムフライデーも失敗と言われてます  
が、「テレワーク・デイ」は一体どうなるんでしょうか。

## 今年度地区大会 PR



## 地区出向者アワー

吉岡 秀記 会員



地区〈青少年交換委員会〉に出向  
させて頂いています吉岡秀記です。  
以前一度卓話にて説明させて頂いて  
いますので、今回は1年間の委員会  
の仕事のサイクルについてお話致し  
ます。

青少年交換委員会の1年の始まり  
は、8月の交換学生の選抜試験です。中学3年から高校  
2年生迄の応募者の中から約10名を選びます。合格した  
候補生は1年間のオリエンテーションでロータリー交換  
留学について学び、十分に準備して1年後の7月に世界  
に旅立ちます。ロータリーならではのルールを学んで世  
界中から集まってくる交換留学生同士、留学先のロータ  
リークラブ、ホストファミリー、学校の皆さんとコミュ  
ニケーションをとり、1年間親元を離れて楽しく生活を  
送れる様にみっちり教育を行います。

一方で当地区から送り出す候補生と交換に海外から  
やって来るインバウンド（海外からの留学生）も同じ人  
数だけやって来ます。彼らは各ロータリークラブがホス  
トを引受け、住む家と通う学校を与えられます。日本語  
もままならぬ不安いっぱいの彼らを地区ではサポートし  
少しでも早く日本に慣れる様指導します。そのために候  
補生同様に年11回のオリエンテーションを開催します。

ちょうど今の時期7～8月には昨年当地区から海外へ  
飛び立った日本の学生が帰国します。今年の派遣生と入  
れ代わる形です。帰国した学生達は1年間の成果をホス  
トして下さったクラブ、地区に対して報告する義務があ  
り各クラブの例会、地区青少年サミット等で報告をし  
ます。出かける前と比べ立派に成長した彼らの報告には目  
を見張るものがあります。

彼らが世界で戦える日本の若きリーダーとなってくれ  
るとロータリーのサポートはさらに価値あるものとなり、  
委員としても活動に力が入ります。

## 新入会員アワー

### 田上 武 会員



今年6月末より入会させて頂いた、明治安田生命の田上と申します。どうぞよろしくお願い致します。簡単な自己紹介、経歴等をお話しさせて頂ければと存じます。

1967年の3月31日生まれで今年50歳になりました。妻と2人でこの4月より刈谷の住民とならせて頂きました。

出身は東京都杉並区なのですが、父の海外転勤に伴い、米国のロスアンゼルスで生まれました。その後、地元の小学校を卒業後、ミッション系の男子高校に通いました。高校生活は、甚だ勘違いした学生生活を送っており、思い出と言えば剣道部での部活動と、街で女子高生を中心としたマーケットリサーチをしていたことしか覚えがありません。

また、古い映画や読書は好きだったので、これもまた勘違いをして当時は「映画監督か作家になる」と豪語しており、大学は文学部の仏文科に入学しました。

1クラス40名程度のこじんまりしたクラスで男性は3名と言う状況でしたので、男子校から女子大に編入したような状態でした。

学生時代は、アーチェリー部に所属し、一年中アーチェリーをしていました。楽天的な性格と手が長いため、割とアーチェリーは上手で大学3年生の時には関東学連の1部に昇格しました。

その後、91年4月に入社しました。入社後27年間うち、本社の企画や業務推進部門が長く、ほぼ20年ほど籍を置いており、その他、長野県佐久市、福島県郡山市、そして20年ほど前にこの刈谷の地でもお世話になっております。そしてまたこの4月より刈谷の地でお世話になることとなりました。

会社生活においては人に話せるようなトピックスは、あまりないのですが3つほどご紹介します。

1つ目は、2000年から1年間三菱総合研究所へ社外トレーニーとして出向させて頂きました。

某カメラメーカーデザインの新製品のマーケティングを担当させて頂いたのですが、決定されたスペックから、日米欧のターゲットゾーンや価格設定、プロモーション戦略と多岐に亘る販売戦略を研究員の方々と実践させて頂けたことと、社外から当社を見れたことは、非常に貴重な体験でした。

2つ目は、7年間ほどプロモーションの仕事をさせて頂いたことです。CM制作から連動したプロモーション戦略を策定することは、今思うと二度としたいくない激務ではありましたが、モノづくりをしない当社の中では形に残るものを作れる数少ない部署であり、完成した際の達成感は何も言われぬものでこれもまた、非常に勉強になりました。

そして3つ目は東日本大震災時に、福島県で勤務していた時でした。被害の甚大さを実感しました。

私の所属した郡山支社管内のお客様も沢山のお亡くなりになった方々があり、当社職員も1名津波により残念ながらお亡くなりになられたことは本当に悲しい思い出です。

細かい話をし始めるときりがないので、割愛しますが、正直私は、生命保険業は重要な仕事だとは思っていましたが、先ほど申し上げた通り、先輩に言われ、「まあ、つぶれることの無い会社だろう」位の気持ちで入社しており、所詮、万が一の時のお守りと言う意識は常々持っていたような気がします。

ただ、あの惨状を見たとき、「生命保険業の重要性や偉そうな話ですが、使命感と言うものを実感いたしました。」

ととても、辛い体験ですし、未だに原発周辺の地域にお住いの方々は故郷に帰れる見通しが立たず、震災は終わっていない状況ですが、自身にとって生命保険人として大きな経験だったと思っております。

最後に、当社の刈谷支社について少し話をさせて頂きます。

2004年1月明治生命と安田生命が合併し、明治安田生命が誕生した際に、明治生命の刈谷支社と安田生命の愛知東支社を統合再編のうえ明治安田生命刈谷支社が誕生致しました。その後7年間支社として地域のお客様に対し、フォローをさせて頂きましたが、2011年4月に岡崎支社と統合し、この3月までの6年間は岡崎支社刈谷営業支社として活動をさせて頂きました。

そして、この4月お客様の人数やアドバイザーの在籍数そしてマーケット環境の発展性に伴い、新生刈谷支社が再度誕生致しました。

北は豊田市から南は南知多町までの地域の約4万名6万件のお客様を、9拠点・250名ほどの営業職員でフォローさせて頂いております。

もし、お知り合いに当社職員がおりましたら、「頑張ってるねえ」とお声掛け頂ければ幸いです。

以上、大変つたない話で申し訳ございません。今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。

## 7月度刈谷 RC ゴルフ例会

平成29年7月20日(木)

於：中京ゴルフ倶楽部石野コース

成績	氏名	G	H	N
優勝	小林 祥浩	95	27	68
2位	塚本 幸夫	89	13	76
3位	池田 憲司	110	33	77
B B	鈴木 豊	111	18	93

